

ドキュメンタリー映画

# 「トークバック 沈黙を破る女たち」

～演劇で、声を取り戻していく“わけありな”女たちの物語～

## 上映会&坂上香監督との語り合い

どんなにサイテーな人生だったとしても、恥じることなんてない。顔をあげて語るのよ！

『Lifers ライファーズ 終身刑を超えて』から 10 年。“どん底”を味わった女たちが、芝居を通して新しい生き方を模索する姿に監督自身が強く心を揺さぶられ、沈黙を強いられている人々にどうしても伝えたい、と映画の製作を決意した。多くの困難を乗り越え、8 年の歳月を経て『トークバック～沈黙を破る女たち』が完成。

観る人に感動と希望を与えるこの映画を、ぜひ一緒にご覧ください！坂上香監督に製作時の想いなども語っていただきます。

日時 2016 年 2 月 14 日 (日) 13:30～16:30

場所 和泉市コミュニティセンター 3F 多目的室

参加費 前売 800 円 (当日 1000 円)

定員 50 名 対象 中学生以上

申し込み CAP いずみ事務局まで(裏面をご覧ください)

CAP (キャップ=子どもへの暴力防止) とは

子どもがいじめ・誘拐・虐待・性暴力などのさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。子どもたちに『あなたは安心して自信を持って自由に生きる権利を持っているよ』とわかりやすい言葉で伝え、暴力にあった時にできることを一緒に考えます。

CAP いずみは泉州地域で幼稚園や小・中学校の、先生、保護者、子どもたちに CAP のプログラムをとどけています。



主催 特定非営利活動法人 CAP いずみー暴力防止・人権ネット

## ドキュメンタリー映画「トークバック～沈黙を破る女たち」

舞台はサンフランシスコ。元受刑者と HIV/AIDS 陽性者が、自分たちの人生を芝居にした。暴力にさらされ、“どん底”を生き抜いてきた女たちの現実とファンタジー。舞台上、日常でトークバック（声をあげ、呼応）する女たち。

彼女たちの演劇は芸術か、治療か、それとも革命か？芝居を通して自分に向き合い、社会に挑戦する 8 人の女たちに光を当てた、群像ドキュメンタリー。

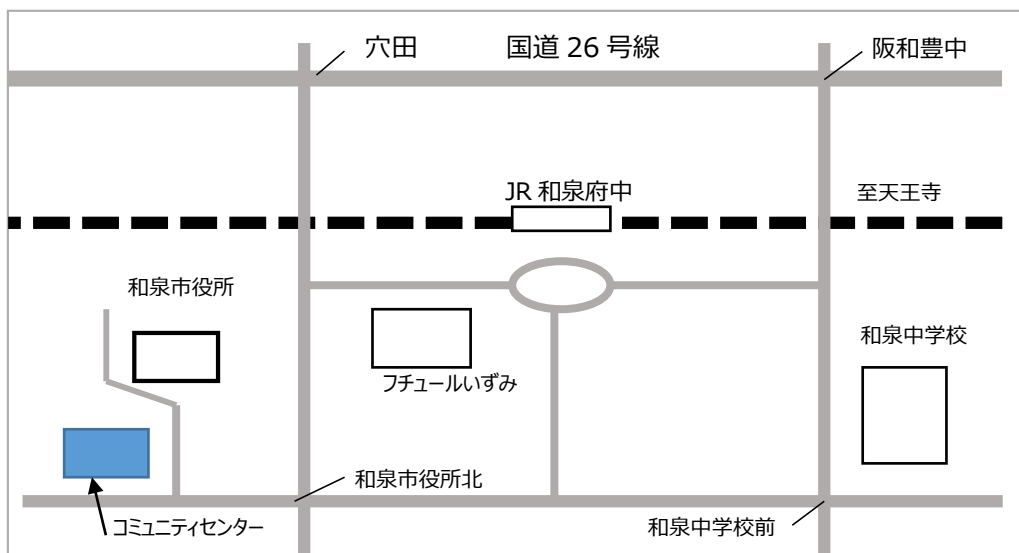
監督・製作・編集/坂上 香 共同プロデューサー/麻生 歩 撮影/南 幸男 録音/森 英司

音楽/伊藤 彰教 ポストプロダクション/Neo P&T 制作協力/トークバック応援団

製作・配給/out of frame 宣伝/スリーピン

ドキュメンタリー映画/2013 年/日本/HD/カラー/英語/日本語字幕付き/119 分

和泉市コミュニティセンター 〒594-8510 和泉市府中町 2 丁目 7-5



### お申し込み方法

\*受付は先着順。定員を超えた場合のみご連絡いたします。

\*事前に申し込みいただいた方は、当日受付で前売代金をお支払いください。

①FAXで 下記の申込書にご記入の上、FAX してください。

②電話で 留守番電話になっています。必ず「トークバック参加希望」、「お名前」、「電話番号」をお入れください。

CAP いずみ事務局

TEL・FAX/072-438-8548

「トークバック～沈黙を破る女たち」チケット 申込書

年 月 日

<枚数> \_\_\_\_\_ 枚 <お名前> \_\_\_\_\_

\*参加される方全員のお名前を記入ください

<連絡先> 下記のいずれかに必ずご記入ください

TEL/ \_\_\_\_\_  
FAX/ \_\_\_\_\_  
携帯/ \_\_\_\_\_